



会津大学 後援会だより

第46号

発行：会津大学後援会(事務局 学生課)

発行日：2021年8月1日

住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

電話：0242-37-2515

URL：https://www.u-aizu.ac.jp/



学長あいさつ

「居場所創り」の 危機に思う

会津大学長 宮崎 敏明

会津大学は開学以来、コンピュータと英語学習において、国内随一といえる環境を学生に提供してきた。しかし、環境をどんなに整えても、本人のやる気、向上心を引き出すのは難しい。そのことを、先日、本学の語学研究センター長Wilson教授が、ある会合で、本学学生の英語力強化に関して問われ、イギリスのことわざ「馬を水辺に連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない。」を引用し言及された。現在、国内に大学は790校ほどあり、その内の約3割は定員割れの状況である。大学を選ばなければ、誰でもが大学に入学できる全入時代となった。そのような状況下で、本学に入学してくる学生全員が、初めからコンピュータや情報通信技術（ICT）の専門家を目指そうと思っていないであろうことは想像に難くない。しかし、過去多くの若者が、ICTに関する一定の見識とスキル持って本学から巣立ち、社会で活躍しているのも事実である。

直近3年間の本学学生の卒業時の成績（GPA）と

1年生終了時のGPAに、強い相関が認められた。一方、入試の成績との強い相関は認められなかった。これは、卒業時の成績は、入試の成績ではなく、1年時の過ごし方にかかっていることを示唆している。同様の傾向は、他大学でも報告されている。成績に限って言えば、入学直後に、大学で学ぶことに何らかの意味を見出し、やる気や向上心が芽生えた学生は、その後、順当に伸びるということである。大学が教育機関として、学生に提供できることは、学部教育における体系だった専門基礎教育と、大学院を中心とした最先端技術に触れる場である。しかし、それにも増して、大学に必要なのは、学生一人一人に「居心地の良い居場所」を提供することだと思う。すなわち、学生にとって大学とは、尊敬できる教員や先輩、一生の友となる仲間、企業・自治体・市民との出会いが叶う「居場所」であるべきと思うのである。それができる大学からは、偏差値や既成概念に囚われない人材が育ち、世の中に変革をもたらす技術が生まれるのだと思う。

いま、新型コロナの影響で、学生たちが大学に来ることを制限するケースがある。大学として、遠隔講義を初め、十分な教育環境を提供する努力は日々行っているが、学生たちにとって、人との出会いが制限され「居場所創り」が困難になっているのも事実である。全教職員一丸となって、学生一人一人のケアに今まで以上に注力して行かねばならないと強く思っている。



会長あいさつ

会津大学後援会会長

高宮 誠

会津大学後援会会員の皆様におかれましては、日頃より本会の運営にご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

また、新たにご入学されました新入生ならびに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

会津大学は、日本初のコンピュータ専門大学として1993年（平成5年）に開設されました。話は遡り、白虎隊の学び舎「會津藩校 日新館」は、幕末会津藩の教育の重要な役割を担った教育機関でした。戊辰戦争によりその教育手段を失いましたが、もともと教育意識の高かった会津の人たちは高等教育機関の設置を求めて運動し、四年制大学の設立という形で長年の悲願を叶えることができたという経緯があります。

本大学は、ユニークなカリキュラムと教育方針で全国から学生を集め、近年では国内外の大学ランキングで高い評価を受けるようになり、日本有数レベルのコンピュータ単科大学として発展し続けています。

今年度の後援会事業計画につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大きな制約を受けることが予測されますが、会員の皆様には、後援会活動へのより一層のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本大学が立地するこの会津の地では、地域の方々から学生と大学が温かく見守られています。こうした恵まれた環境の中で、後援会会則の目的である大学における教育の拡充発展、学生の教養向上及び福利厚生等の援助を図るために後援会が大学と連携し、学生たちがそれぞれの夢の実現に向けて充実した学生生活の一助となることを願いまして、私の挨拶とさせていただきます。

学位記授与式 (2020年度)

2021年3月19日(金)、学位記授与式が執り行われました。コンピュータ理工学部卒業生210名、大学院博士前期課程修了生48名、大学院博士後期課程修了生5名、計263名を代表して、学部卒業生の松尾祐飛さんが答辞を述べました。

また、在学中に優秀な成績や研究の成果を修めた学生の表彰が行われました。

学長賞	松尾 祐飛 (学部) 大竹 樹 (博士前期課程)
優秀賞	村木 匡弥 (学部) 本間 祐樹 (学部) 寺田 拳汰 (博士前期課程)
公益財団法人会津地域教育・ 学術振興財団表彰	橋本 志穂実 (学部) ミハイロア ヴェロニカ (博士前期課程)
電子情報通信学会東北支部表彰	木村 快晴 (学部)
情報処理学会東北支部学生奨励賞	橋本 涼平 (学部)
電気学会東北支部優秀学生賞	山谷 侑平 (学部)

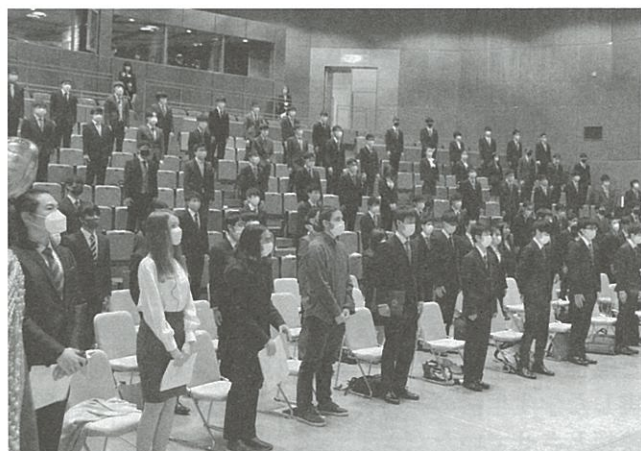


2019年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催し、保護者の皆さまにはご同席いただくことができませんでした。このような中でしたが、学生の皆さんは晴れやかな巣立ちの日を迎えました。

入学式について (2021年度)

2021年4月2日(金)、会津大学講堂にて2021年度入学式が開催され、学部入学生250名、博士前期課程57名、博士後期課程9名、合計316名が入学しました。

入学者及びご家族の皆様におかれましては、新しい門出となる入学式を楽しみにされていたことと思いますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、皆さまの健康と安全の確保を最優先とする措置として、「入学生のみの参加」「入学生を半数にし、式典を2回に分ける」とし、感染症対策を行った上での開催となりました。



新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用し、座席同士の間隔を確保



苗字の頭文字によって2グループに分け、グループごとに整然と会場に移動中

在学生表彰（成績優秀者）

2020年度の各学年の成績優秀者を表彰しました。会津大学では、GPA(*)による成績評価を導入し、学部の上位3名を表彰しています。(*Grade Point Average：大学における成績評価方法の国際標準であり、就職や大学院進学、海外留学の際に活用されています。)

学年(2020年度)	成績優秀者		
学部1年	伊集光世	加藤由芽	石井大智
学部2年	星野結水	村上幸新	酒井乃輝
学部3年	伊藤亮哉	村上弥夢	須藤絢子



2021年3月30日(火)：宮崎学長より、表彰状と副賞(図書カード)を贈呈。後列左端は金子学生部長。同右端は大津山学生副部長。



表彰式当日に欠席となった表彰者には後日、金子学生部長(中央)より、表彰状と副賞を贈呈。

大学での取り組みの紹介

本学の「女性ICT人材育成事業の実施を通じた女性活躍応援の取り組み」が高く評価され、公益社団法人日本工学教育協会第25回(2020年度)工学教育賞(※1)を受賞しました。

会津大学復興支援センター(※2)では、社会人女性のためのIT(情報技術)教育講座として「女性プログラミング育成塾」(2017年～2019年)、「女性のためのITキャリアアップ塾」(2020年～)を開催してきました。

本講座では、現在無職の女性や非正規雇用として働く女性、出産や育児等による退職からの再就職を目指す女性を対象にリカレント教育を行い、学習修了後は、県内企業への就職や起業・在宅ワークへの就業等、各人のライフステージに合わせつつも付加価値の高いデジタル業務への就労を支援しています。

また、本講座はITをフルに活用して実施しているため、新型コロナウイルス感染症の流行拡大の中においても実施に大きな影響は無く、ニューノーマル時代を見据えた地域活性化・女性活躍の人材育成モデルとなり得るものです。

表彰式は、2021年9月8日(水)に信州大学長野(工学)キャンパスとオンラインにて開催される予定です。

※1 工学教育賞とは、日本の工学教育並びに技術者教育等に対する先導的、革新的な試みによって、その発展に多大な影響と貢献を与えた個人・団体の業績を表彰するものです。

※2 復興支援センターは、本学がICT専門大学である特徴を活かし、東日本大震災等から福島県の確かな復興に貢献することを目指し2013年に設立されました。



留学準備のための英語体験プログラム 研修報告

新型コロナウイルス感染拡大のため、2020年度の短期・中期留学プログラムは中止となりましたが、異文化理解や国際化に対する学生のモチベーションを高め、語学力向上を目的として、この代替プログラムを実施しました。福島県天栄村に位置するブリティッシュヒルズは、「パスポートのいらない英国留学」をキャッチコピーとし、英国文化を学び、英語漬けの共同生活が体験できる施設です。このプログラムに参加した学生の研修報告を紹介致します。

研修先・期間：ブリティッシュヒルズ（福島県岩瀬郡天栄村）/2021年2月22日(月)～2月27日(土)

笹原 皓太さん（学部2年）

このプログラムに参加する前、ここで学べることは、英語の日常的な話し方だけだと思っていました。しかしプログラムが終わった今、学んでよかったことはそれ以外の事でした。

それは、Business Experienceという授業でした。この授業を通して私は、英語での発表の仕方や伝え方、そして他の人と協力することの大切さを学ぶことができました。授業ではいくつかグループを作り、グループ内で世の中にある商品を考えて英語でプレゼンをしました。数日の準備期間を経て発表するので、私は研修中に培った日常英会話を駆使しながら、グループメンバーと相談して発表に臨みました。



プレゼンの様子

発表はプレゼン形式でやるので、質疑応答もありました。事前にどのような質問が来るかメンバーと相談していたので、自信をもって答えようとしたのですが、いざ本番になると私は頭が真っ白になってしまい、戸惑って話せなくなることがありました。しかし他の仲間が質問に答え、その場を乗り切ることができました。もちろん英語で流暢に話せることは大事ですが、失敗したときは一人で抱え込まず協力することがとても大事だと、改めて知ることができました。またプレゼンの内容を考える際、私は説明文の制作を担当したのですが、どのような英語を使えば相手に伝わりやすいかを考えることで、大学生活でたくさんあるプレゼンの練習として良い機会になったと思っています。

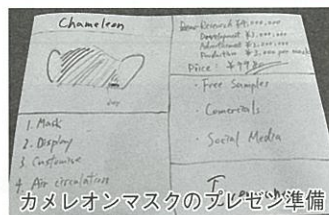


Pub Quiz: クイズで楽しく英語を学ぶ

このプログラムを通して、自分の英語の対話力や表現力に自信ができました。今後も似たようなプログラムがあった際には、積極的に参加したいと思います。

千葉 泰誠さん（学部2年）

私は新型コロナウイルスの影響で留学に行けず代わりに何かに挑戦したいという思いで、プログラムへの参加を決め、その結果たくさんの良い経験をすることができました。ブリティッシュヒルズに行く前は、授業や現地での生活について行けるか心配でしたが、参加したメンバーや現地の先生方がとても優しく面白かったため、楽しく過ごすことが出来ました。



カメレオンマスクのプレゼン準備

最も心に残った授業は、Business Experienceという授業です。この授業では、グループに別れて1つの商品のアイデアを出し、その商品を投資家と言われる人達にプレゼンをするものです。私たちのグループでは、カメレオンというマスクを考えました。これは、マスクがディスプレイになっており、自分の好みの模様



授業風景

様に何度でも変えることができるというものです。この授業では、プレゼンテーションでの話し方を学ぶことが出来ました。同じような表現になってしまうところは違う

表現にしたり、あえて一呼吸おいて喋ってみたりすることで、印象に残る発表が出来るということを学びました。

この授業の他にも様々なアクティビティを通して、楽しく英語を学ぶことができました。私にとってこのプログラムの参加は、1つの挑戦でした。挑戦することで新しい体験ができ、毎日が新鮮で楽しかったです。留学に興味がある学生や何かに挑戦してみたい学生は、第一歩としてブリティッシュヒルズのプログラムに参加して欲しいと思います。



クロスカントリースキー

2021年度も新型コロナウイルス感染予防対策として海外渡航ができないため、また、このプログラムが学生にとって大変効果的だったため、「留学準備のための英語体験プログラム」を2回、下記の日程で実施する予定です。
夏季：2021年9月25日(土)～9月28日(火)／冬季：2022年2月14日(月)～2月19日(土)

*このプログラムに参加した学生や留学経験者のレポートは、下記のウェブサイトでご覧頂けます。

<https://www.u-aizu.ac.jp/osip/dispatch/report/>

学生会の紹介

こんにちは、学生会執行部です。

私たちは学生会員がより良い生活を送ることができるよう、日々活動しています。

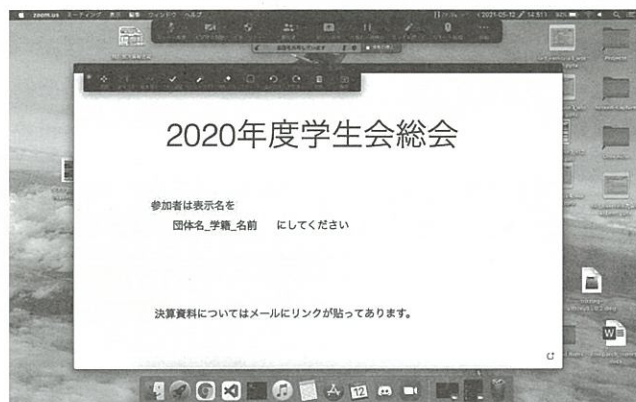
2020年度の主な活動

◎学生会総会の運営

学生会総会とは学生会の意思決定に対する最高機関であり、学生の学生生活における決め事を審議、決定する場です。主に予算や決算、会則などについて審議します。また、学生会員の意見を取り入れる場としても開催されます。私たち執行部は学生会総会の開催、告知、運営を行っており、それぞれ4月に昨年度の決算総会、5月に今年度の予算総会が行われます。

◎設備編成

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から各サークルによるサークル活動もオンラインによる活動や厳しい制限下での一部対面による活動としてきました。そのような状況で、前述した学生会総会においてネット環境を整えてオンラインの活動をしやすいしてほしいとの要請があり、現在、執行部として学生の意見を反映できるよう、外部の企業様に協力していただき、ネット環境の整備に尽力しています。



決算総会の様子

学園祭実行委員会の紹介

こんにちは！学園祭実行委員会です！

私たちは10月9日、10日に開催される学園祭（蒼翔祭）に向けて日々活動しています！

◎ハイブリッド学園祭

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの学園祭を開催しました。そして今年度は昨年度のオンラインの形式と例年のオフラインの形式を組み合わせたオンオフ両方での開催をすることに決定いたしました！！

初めての試みでわからないことばかりですが、精一杯より良いものをつくっていきますので応援よろしくお願いします！

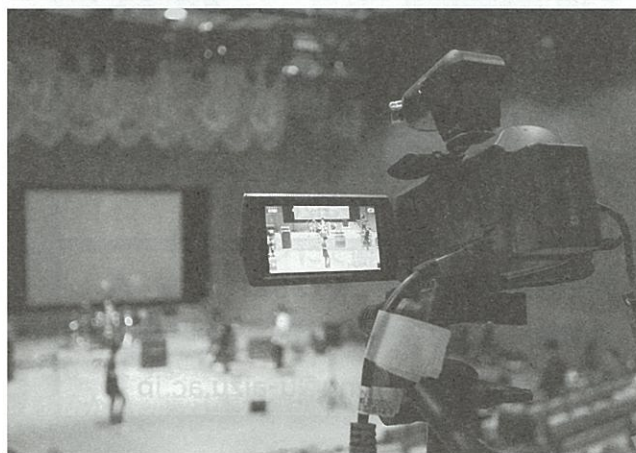
◎学園祭からのお願い

対面での開催をするにあたり、アルコール消毒やマスク着用など新型コロナウイルス対策を万全にするよう準備しております。当日ご来場されるお客様にもマスク着用等の感染症対策のご協力をよろしくお願いいたします。

また、福島県や会津若松市の新型コロナウイルスの感染状況次第で対面での開催を中止する可能性がございます。

詳しくはHP、SNS、YouTubeなどで最新情報を発信していきますのでぜひご覧ください！

◆蒼翔祭公式ウェブサイト <http://soshosai.com/>



修学支援室より

修学支援室は、講義や演習だけでは内容を十分に理解できなかった際に先輩に相談・質問できる場です。支援室には本学卒業生が務める修学支援員及び大学院生・学部生によるアシスタント（TA・SA）が待機し、数学からコンピュータ系科目まで幅広く対応しており、一年生をはじめ、多くの在学生の皆さんも利用しています。パーテーションで区切られた自習室も備えていて、様々な学生にあった形で利用できるようになっています。

修学支援室（研究棟2階 246E）

- 電話: 0242-37-2758
- Email: ofls@u-aizu.ac.jp
- URL: <http://www.u-aizu.ac.jp/campus/support/learningsupport>



◆オンライン化への取り組み

昨年、新型コロナ対策のため学内への立ち入りが一時期制限されましたが、そのような状況でも学業支援を行うために様々な検討を行いました。実際に行った取り組みとして、メールでの質問対応や授業で難しく感じた箇所についてアンケートの実施、web上での解説等を開始しました。特にメールでの対応は立ち入り制限解除後も継続しています。結果、支援室内外で学生のサポートを行うことに成功しています。今後についてですが、利用者の利便性向上のためこれらの取り組みについても継続する予定です。

◆履修相談会

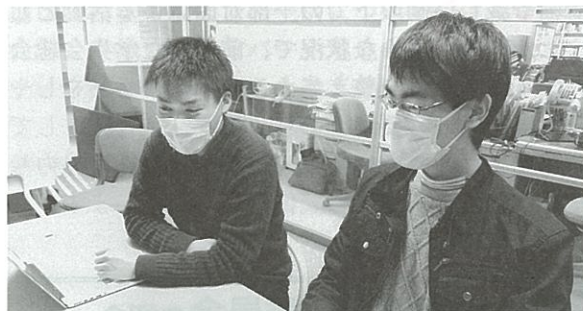
科目の履修、進級に関わる規定、オンライン授業開講など近年で授業内容が大きく変更されています。これにより自分の履修状況等を不安に感じる学生も少なくありません。そのような相談に対し、情報の提供及び今後の履修計画の提案なども行っています。また、昨年度から質問対応同様でメールでの相談も受け付けています。

◆試験期間中の対応

期末試験前には、日曜日に修学支援室を臨時で開室する場合があります。授業で忙しく普段は来室できない、休日に質問したいなどの学生が利用しやすくなっています。昨年は実施できませんでしたが、メール対応で対策させていただきました。

◆コロナ対策の支援

昨年から学内のコロナ対策のサポートも行っています。代表的なところでは学生への食料配布や健康診断に用いられる予約システムの開発を担当させていただきました。またオンライン、2教室配信授業によるトラブル対応も行っています。



食糧配布予約システム：大学にご寄付いただいた食糧を学生に届ける際、予約から受取までをシステムで管理。食糧配布時の混雑を避け、人との接触を最小限にすることができま

保健室（看護師）・学生相談室（カウンセラー）より

保健室（研究棟1階 148）

- 電話: 0242-37-2517
- Email: nurse@u-aizu.ac.jp



学生相談室（研究棟2階 252）

- 電話: 0242-37-2610
- Email: counseling@u-aizu.ac.jp



◆『会津大〇日』連載中

このメールマガジンでは、心と体の健康に関する気楽なメッセージを定期的にお送りします。健康になるための情報が知りたいとき、ちょっと後ろ向きになってしまったとき、役に立つはずです。タイトルの数字には、今年度が始まって何日経ったのかが入ります。少しずつ増える日数を見て、少しずつ前進していってもらいたいという気持ちがこもっています。

『会津大〇日』アーカイブは下記のURLからをご覧ください。ぜひ、ご一読ください！

<https://support-u-aizu.blogspot.com>

就職支援室より

現在、日本に限らず世界的な傾向として、コンピューター技術に携わる人材が各業界のあらゆる分野で必要とされています。

会津大学は、まさにITエンジニアの仕事で活躍できる人材の育成を目指している大学で、その実績が社会的に評価されて高い就職率につながっています。

就職支援室では、学生に最新の企業データを提供するとともに、個別の進路アドバイスをこなしています。

対面による相談はもちろんのこと、より学生が利用しやすいように、リモート対応（電話・メール・オンライン面談）も実施しています。



就職活動は早めのスタートが成功への鍵です！

◆対応できること

- ◆進路・就職相談・インターンシップ など
- ◆エントリーシート・履歴書添削・アドバイス
- ◆面接対策・面接練習
- ◆その他 お気軽にご相談ください

就職支援室（学生ホール2階）

● 電話：0242-37-2790

● Email: career@u-aizu.ac.jp



2020年度 就職・進路状況について

後援会では、各種資格試験（情報処理技術者試験、TOEIC）の奨励金を支給するとともに、就職活動交通費・宿泊費について補助を行い、学生の就職活動を支援しています。

2020年度進路決定状況（2021年5月31日現在）

◆就職状況

	進路希望	決定者数
民間企業	153	149
県内	25	24
県外	128	125
教員	2	2
公務員・団体等	3	3
起業・家業	2	2
合 計	160	156
就職率	97.5%	

◆進学状況

	進路希望	決定者数
本学大学院	49	49
他の大学院	7	7
海外の大学院	1	1
合 計	57	57

主な就職先（一部抜粋）

【県外】

JR東日本情報システム、
NTTデータ グローバルソリューションズ、
内田洋行ITソリューションズ、カプコン、京セラ、
サイバーエージェント、サイボウズ、
セコム、総合警備保障（ALSOK）、
ソフトバンク、東芝情報システム、
トヨタテクニカルディベロップメント、
ネットワンシステムズ、
パナソニックデバイスシステムテクノ、
日立オートモティブシステムズ、日立製作所、ブルボン、
ミクシィ、三井情報、ヤフー、楽天

【福島県内企業または福島県に拠点あり】

アクセンチュア、岩通マニュファクチャリング、
エヌ・エス・シー、FSK、エフコム、
信越化学工業（信越半導体白河）、シンク、
住田光学ガラス（只見工場）、
東邦情報システム、東北村田製作所、
日本デジタル研究所（郡山研究開発センター）、
福島県、福島情報処理センター

2021年度 後援会活動について

後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しています。

2020年度決算及び2021年度事業計画・予算につきましては、2021年度後援会総会（※書面協議）において下記のとおり承認されました。（※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2021年度入学式と同日に開催を予定していた後援会総会も中止となりました。これにより本年度の総会については書面協議により実施いたしましたのでご了承ください。）

2020年度会津大学後援会決算

1 収入科目	決算額（単位：円）
会費	16,179,840
雑収入	133
バス利用料	0
TOEICテスト受験促進事業	656,325
繰越金	5,685,459
計(a)	22,521,757

2 支出科目	決算額（単位：円）
会議費	0
事務費	1,783
事業費	9,593,397
学生課外活動助成費	4,000,000
厚生及び進路対策費	2,984,630
研修等助成事業費	0
スキルアップ奨励事業費	590,000
TOEICテスト受験促進事業	1,959,455
健康診断緊急補助事業	59,312
記念事業積立金	500,000
予備費	0
計(b)	10,095,180
当期収支差額 (a) - (b)	12,426,577
次期繰り越し	12,426,577

2021年度事業計画

時 期	事業概要
2021年	4月～翌3月 クラス活動助成事業
	4月～翌3月 新入生クラスミーティング運営補助
	4月～翌3月 TOEICテスト受験促進事業
	4月～翌3月 就職活動交通費補助事業
	4月～翌3月 就職活動宿泊費補助事業
	4月～翌3月 ボランティア活動費補助事業
	4月～翌3月 研修等助成事業
	4月～翌3月 スキルアップ奨励金事業（情報処理技術者試験）
	4月～翌3月 //
	4月～翌3月 教育実習・介護等体験に伴うPCR検査緊急補助事業
	4月～7月 朝食定期券補助
	7月 学生会への助成、学園祭実行委員会への助成
	8月 後援会だより（第46号）発行 会津大学報告会・就職講演会
	10月9日 保護者のための相談会 【同窓会共催】懇親会 第2回役員会
	3月 後援会だより（第47号）発行
2022年	3月22日 第3回役員会
	3月22日 卒業記念パーティ

2021年度予算

I 2021年度会津大学後援会予算

1 収入科目	予算額（単位：千円）
会費	16,255
雑収入	1
バス利用料	90
TOEICテスト受験促進事業	656
繰越金	12,643
計	29,645

2 支出科目	予算額（単位：千円）
会議費	100
事務費	0
事業費	17,370
学生課外活動助成費	6,000
厚生及び進路対策費	6,520
研修等助成事業費	550
スキルアップ奨励事業費	1,100
TOEICテスト受験促進事業	3,200
記念事業積立金	500
予備費	11,675
計	29,645

II 2021年度記念事業積立金予算

1 収入科目	予算額（単位：千円）
積立金	500
雑収入	1
繰越金	3,970
計	4,471

2 支出科目	予算額（単位：千円）
該当科目なし	0
計	0

2021年度 会津大学後援会役員

役 職	氏 名
名 誉 会 長	宮 崎 敏 明（会津大学長）
会 長	高 宮 誠
副 会 長	國 分 文 子
監 事	五十嵐 哲 朗
委 員	川 島 真由美
	兼 子 康 弘
	鈴 木 邦 夫
常 任 委 員	永 田 嗣 昭（会津大学事務局長）